

# 「平均寿命」よりも長生きするつもりでいよう!

経営環境研究部 研究員 神村 玲緒奈(かみむら れおな)

## 平均寿命とは0歳の平均余命のこと

日本人の平均寿命が延び続けています(資料1)。2017年の平均寿命は男性81.1歳、女性87.3歳に達し、どちらも過去最高を記録しています。

しかし、この平均寿命という指標はその年の0歳児が平均的に生きられるであろう寿命を示したものであり、現在生存している日本人全員の寿命の平均ではありません。そのため、例えば老後生活を考えて貯蓄や投資をする際、「平均寿命まで生きる」と仮定するのは正しいとはいえません。では、私たちは何歳くらいまで生きると考えればよいのでしょうか。

## すべての年齢の死亡率を反映した余命が平均寿命

実は、私たちの寿命は「平均寿命よりも長い」と仮定したほうが、より正確です。

各年齢の「現在年齢+平均余命」、つまり各年齢の人々が何歳まで生きられるであろうかを確認してみましょう(資料2)。すると、0歳を除く全ての年齢において「現在年齢+平均余命」のほうが平均寿命よりも長いことが分かります。

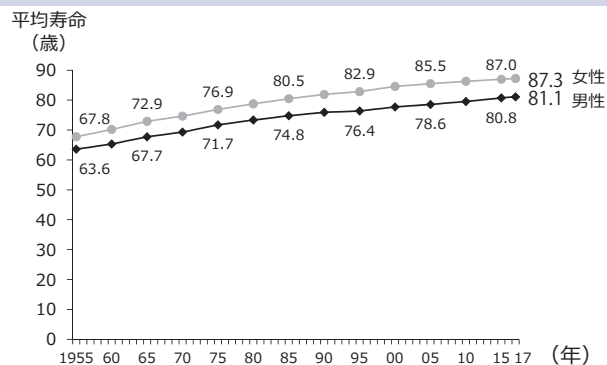
これは、ある年齢X歳の平均余命が、X歳以上の各年齢の死亡率(1年間で死亡する人の割合)によって決まるためです。つまり、X歳まで生きた人の平均余命は、X歳未満の死亡率が無視されるため、結果として「現在年齢+平均余命」は平均寿命よりも長生きになるというわけです。

## 「現在年齢+平均余命」は高齢者ほど長くなる

高齢になるほど、その年齢より若い年齢の死亡率が反映されなくなるため、「現在年齢+平均余命」は平均寿命よりも長くなります。例えば20歳の「現在年齢+平均余命」は平均寿命とさほど変わりませんが、70歳では男性85.7歳、女性90.8歳と男女とも平均寿命より3年以上も長くなっています(資料2)。

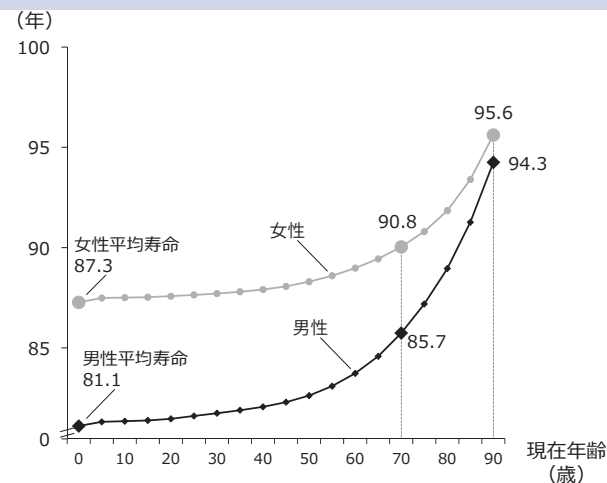
老後生活が長くなれば、その分必要となる金額が変わってきます(資料3)。あらかじめ「平均寿命より長く生きる」ことを想定したうえで、老後生活の準備をしておくことが大切でしょう。

### 資料1 日本人の平均寿命の推移



(出所)厚生労働省「平成29年簡易生命表」より筆者作成

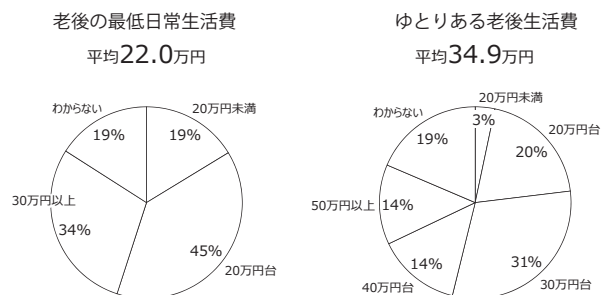
### 資料2 現在年齢別「現在年齢+平均余命」



(出所)資料1に同じ

### 資料3 老後生活の生活費の目安(月額)

Q. 夫婦二人で老後生活を送る上で、月々いくら必要だと考えますか？



(出所)生命保険文化センター「生活保障に関する調査」(平成28年)をもとに筆者作成